

I 事業報告

1 事業の成果

平成 28 年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として、環境学習・教育事業、環境保全に関する普及啓発事業、情報収集及び情報提供事業を行った。また、前年に引き続き大阪市住之江区における活動も行った。

定例講演会は第 149 回（年度中 7 回）を迎えた。

【環境学習・教育事業】

「子ども環境カレッジ」と題し、小中学生を対象として、昨年と同様に GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」を実施したのに加え、大阪市住之江区の南港野鳥園において「身近な生きもの探検隊 in 南港野鳥園」を開催し、身近な環境について体験し考える環境教育を行った。

また、一般市民を対象とした定例講演会を、世田谷区駒沢地区において 4 回、大阪市住之江区で 2 回、福岡市で 1 回開催した。なお、これらの講演会はテレビ会議システムを利用し、全国 10 か所でも聴講できる形式で開催している。

【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、平成 27(2015)年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2016」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

また、いであ(株)と連携し、防災・減災学習用教材「ぼうさいキング」の普及活動を行い、販売を担当した。

【情報収集及び情報提供事業】

沖縄本島海域に生息するジュゴンの長期的な保護対策を検討するため、ジュゴン研究会を運営した。2 回の委員会を開催し、学識者からの意見聴取や対策の方向性の検討を行った。

また、東北地方および中部地方を中心として、淡水魚及びその生息地の保護に関する活動（生息地の状態の把握の調査、行動特性に関する研究、個体の生息域外での保護等）を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲 および人数	支出額 (千円)
環境学習・ 教育事業	「子ども環境カレッジ」 環境と生物に関する 室内セミナー等	8月27日(土) (13:00~17:00)	世田谷区 駒沢	32人	小学生・幼児, 保護者 (44人, 27人)	126
	「子ども環境カレッジ」 水辺公園緑地の自然観 察会	7月30日(土) (9:00~12:00)	大阪市住之江 区南港野鳥園	20人	小学生・幼児, 保護者 (22人, 14人)	66
	環境保全に関する 講演会、 セミナー、 シンポジウム等	4月25日(月) 6月27日(月) 7月25日(月) 9月26日(月) 10月24日(月) 10月31日(月) 11月28日(月) (原則 17:00~ 18:30)	4,7,10,11月 世田谷区 駒沢 6,10月 大阪市 9月 福岡市	5人 /1回	一般市民 (※事務局・社員・外部の総数) 227人 296人 176人 168人 261人 226人 157人	745
環境保全に 関する普及 啓発事業	ホームページの運営	4月~3月	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (不特定多数)	25
	活動報告書の作成	8月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数 1,600)	414
	防災・減災学習教材の 制作・販売	7月~3月	世田谷区 駒沢	2人	一般市民 (不特定多数)	0
	「東京湾シンポジウ ム」ポスター展出展	10月	横浜市都筑区 他	2人	一般市民 (200人程度)	0
情報収集及 び情報提供 事業	ジュゴンのモニタリ ングに関する技術開発	11月,3月	世田谷区	6人	ジュゴン生態研究 者	482
	淡水魚の保護に関する 活動	4月~3月	岩手県大槌町 岐阜県大垣市 三重県菰野町 ほか	2人	一般市民 (不特定多数)	1,810

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲 および予定人数	支出 (千円)
	実施せず					

NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 28 年度開催事業一覧

日 時	事 業	備 考
4 月 25 日(月)	●第 143 回（平成 28 年度第 1 回）定例講演会 『海と陸をつなぐ空から見た物質循環と人間環境』	植松 光夫先生 （東京大学大気海洋研究所 国際連携 研究センター センター長・教授）
23 日(土)	◎身近な自然観察会支援(横浜市)	小学校保護者協力
5 月 25 日(水)	※平成 28 年度（第 13 回）通常総会	
6 月 27 日(月)	●第 144 回（平成 28 年度第 2 回）定例講演会 『生態学の理論に基づく生物多様性の保全～森・川・ 水田、そしてコウノトリ～』	江崎 保男先生 （兵庫県立大学地域資源マネジメント 研究科 研究科長・教授／兵庫県立コ ウノトリの郷公園 統括研究部長）
7 月 25 日(月)	●第 145 回（平成 28 年度第 3 回）定例講演会 『高速炉サイクル技術の役割と展開』	荒 邦章先生 （国立研究開発法人 日本原子力研究 開発機構 大洗研究開発センター 高 速炉技術開発部長）
30 日(土)	○子ども環境カレッジ 「身近な生きもの探検隊 in 南港野鳥園」	大阪南港野鳥園 36 名参加（小人 22, 大人 14）
8 月 27 日(土)	○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」	GEC ホール 71 名参加（小人 44, 大人 27）
9 月 26 日(月)	●第 146 回（平成 28 年度第 4 回）定例講演会 『福岡方式が世界のごみ問題を救う』	松藤 康司先生 （福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授）
10 月 21 日(金)	◇東京湾シンポジウム ポスター展出展	
24 日(月)	●第 147 回（平成 28 年度第 5 回）定例講演会 『生態系保全のための総合土砂管理のあり方』	竹門 康弘先生 （京都大学防災研究所 水資源環境研 究センター社会・生態環境研究領域 准教授）
31 日(月)	●第 148 回（平成 28 年度第 6 回）定例講演会 『最新のウナギ学 ～私たちはいつまでウナギを食 べられるか～』	塚本 勝巳先生 （日本大学生物資源科学部 ウナギ学 研究室 教授）
11 月 22 日(火)	△第 5 回ジュゴン保護対策委員会（京都市）	ジュゴン研究会
28 日(月)	●第 149 回（平成 28 年度第 7 回）定例講演会 『2015 年 文明のベクトルが変わった ～SDGs、パ リ協定のインパクト～』	後藤 敏彦先生 （環境監査研究会 代表幹事）
3 月 30 日(木)	△第 6 回ジュゴン保護対策委員会（東京都）	ジュゴン研究会

○環境学習・教育事業（子ども環境カレッジ）

●環境学習・教育事業（環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等）

◎環境学習・教育事業（身近な自然観察会支援）

◇環境保全に関する普及啓発事業

△情報収集及び情報提供事業